

福祉サービス第三者評価の評価者として活動しませんか？

ひと・まち社では利用者本位のサービス提供を基本に福祉サービスの第三者評価を行うために、評価者養成にも力を入れています。ケアマネジャーや介護職を経験した方で、利用者の視点に立ってサービスの質を高めていきたいと考えておられる方、評価者として活動しませんか。

評価者として活動するには、東京都福祉サービス評価推進機構が主催する評価者養成講習を受講して評価者として登録することが必要です。毎年、養成講習は4月に受講受付が始まります。受講にあたっては評価機関を通しての申し込みが必要ですので、関心のある方は、受講の要件など、4月中にひと・まち社までお問い合わせください。
(担当者 松浦)

利用者に対する調査実施数		第三者評価 実施数	
特別養護老人ホーム	8	グループホーム	83
認可保育園	20	小規模多機能	17
療護施設	1	特別養護老人ホーム	47
合計	29	ショートステイ	2
		通所介護	36
		訪問介護	13
		居宅介護支援	7
		特定施設	1
		認可・認証保育所	31
		乳児院	1
		障害者施設	2
		合計	240

市民シンクタンクひと・まち社 第12回総会を開催します

東日本大震災から2年余りが過ぎようとしています。被災地への草の根レベルの取り組みは女性への働き方支援や子どもの遊び場づくり、心のケアなど弱者に対する取り組みが進んでいます。

2012年度、ひと・まち社では調査・研究事業として、「子育て力を豊かにするための支援の実態調査」を行いました。子育て支援に関わる専門職などの現場の支援者に対し聞き取り調査を実施し、報告書「子どもが人との関わりの中で育つために」をまとめました。2013年度は引き続き講演会を行い、新たな子ども調査、支援のしくみづくりをすすめていきます。

また、新たな高齢者調査として、成年後見ニーズ調査を実施し、認知症や障害のために判断力が低下した人の生活を支えるための「後見制度」の理解を深め、身近な市民による「市民後見人」の可能性を探るために「市民が担う成年後見」連続講座(入門編)を企画・実施しました。2013年度は報告書を作成し、今後に向けての新たな講座の検討を視野に入れて調査研究活動をすすめていきます。

福祉サービス第三者評価は、2012年度はグループホーム10件、特養7件、保育所6件など、合計30件の受託実績となりました。利用者本位のサービスにこだわった評価の実績を重ね、ひと・まち社の主たる事業として定着しています。

2013年度は、「認定NPO」に向けて「仮認定」を受けるための準備を進めていきます。100人の寄付者を集めることが最大の課題ですので、定款の改定をして会費の見直しを行い、広く寄附を呼びかけていきます。

第12回目の総会を下記の日程で開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。

特定非営利活動法人
市民シンクタンクひと・まち社 第12回総会

日時：2013年3月15日(金) 18時～19時

会場：ASKビル 4階 第1会議室

調査報告書「子どもが人との関わりの中で育つために」出前報告いたします。

「子育て力を豊かにするための支援に実態調査」調査結果から、すべての子育て家庭に向けた子育て支援策は制度があるものの、親の就労状況や家族形態に関わらず、子どもに必要なサービスが届くための取り組みが十分ではないことが分かりました。深刻な状況の親子を救うための専門職からの提案もあり、専門職の実態や制度上の課題なども含め、調査報告をいたします。

現在、調査報告会を何ヶ所かで予定していますが、ミニ報告会やサロンなどにも出向きますので、地域活動や政策提案にご活用いただければ幸いです。ご興味のある方はひと・まち社まで、ご連絡ください。